

Color Gallery

ヘッドライン

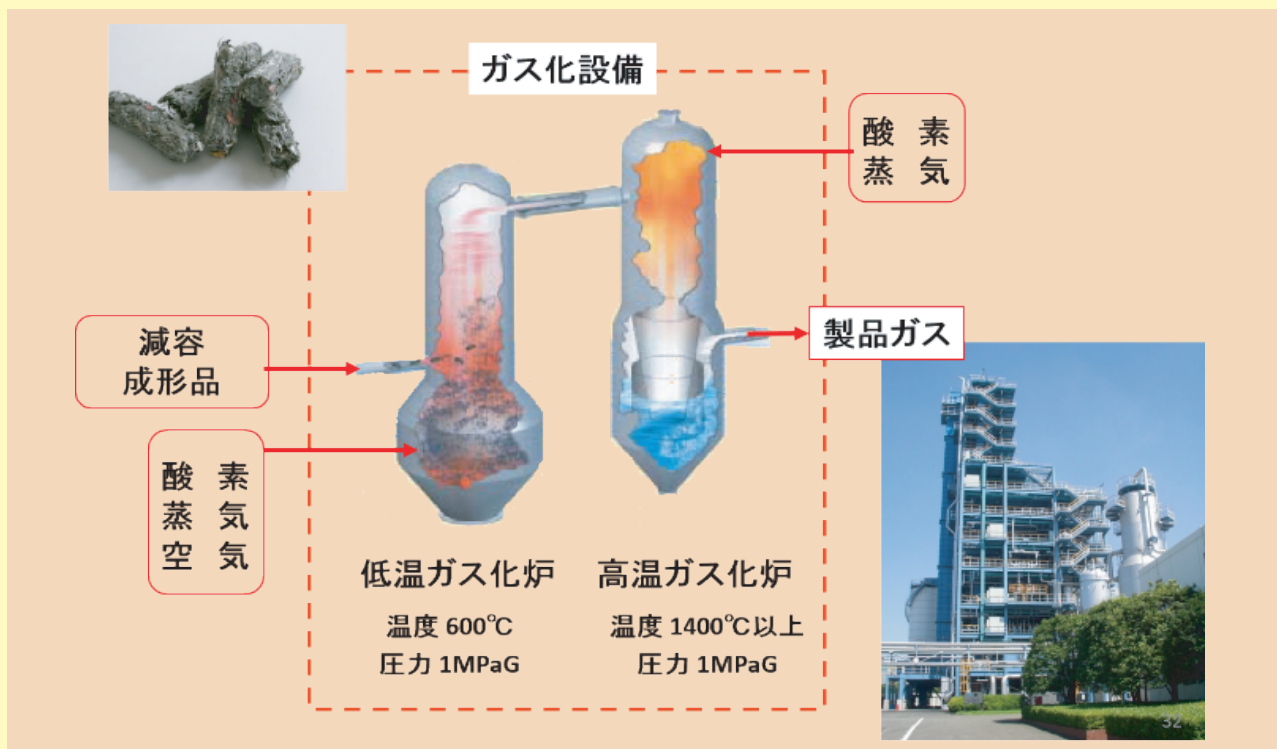
無機化学工業の現場から

アンモニアの工業的製法

栗山常吉

〈廃プラアンモニア原料化〉

昭和電工・川崎事業所では廃プラスチック（廃プラ）を原料としてアンモニアを製造している。この事業は従来のナフサや都市ガスを分解して得る水素の代替として、廃プラから水素を得ている。（中略）当設備では、あらゆるプラスチックの処理が可能であるため、処理できるプラスチックのみを事前に選別する必要がない。（P531）



■KPR（川崎プラスチックリサイクル）プラント概要（P531，図2）

市町村からの廃プラは、RPF（プラスチック減容成形品）に成形してガス化炉に投入される。ガス化炉は、低温ガス化炉と高温ガス化炉から成る加圧二段式ガス化炉である。